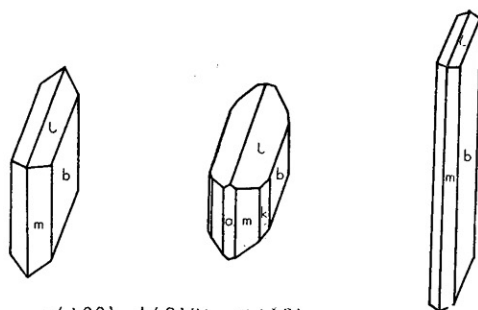


地質調査所の標本

(その8)

石膏 Gypsum



a(100) b(010) m(110)
K(130) L(111)

石膏の結晶

石膏の化学成分は 含水硫酸カルシウム ($\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$) であって 結晶および集合の状態によって 次の3種に分けられている。

- (1) 透石膏 Selenite 無色・白色透明—半透明の結晶
- (2) 雪花石膏 Alabaster 微細な結晶の集合でち密な粒状構造を示す。雪白色を呈するものが多い。
- (3) 繊維石膏 Satin spar 一定の方向に繊維状に配列した結晶の集合

石膏の産出には 透石膏として単体のものもあるが塊状(主として雪花石膏)または脈状(主として繊維石膏)となって鉱床を形づくることが多い。

色は一般に無色—白色—灰色で ときに紅・褐色を帯び透明ないし不透明で真珠または絹糸光沢を呈している。

硬度は2できわめてやわらかく 比重も 2.2~2.4で軽い。

結晶は単斜晶系に属し とくに透石膏として しばしば美しい結晶となって産出し 晶相は m (110) b (010) l (111) を主面とする

- a型 斜軸にたいらな斜方板状
- b型 斜軸に延び正軸に厚い短柱状
- c型 直軸に延びた柱状

の3つの型が著しい。双晶はきわめて多く そのうち(100)を双晶面とする 矢筈形の接触双晶がもつとも普通である。

石膏はすべての地質時代の地層中に出るが わが国では 次の産例が知られている。

1. 水成岩・火山岩中に脈状や塊状あるいは網状をなす
2. 各種岩石の分解した粘土中に散点する
3. 黒鉱鉱床に伴う
4. その他の金属鉱床に伴う
5. 硫黄鉱床に伴う
6. 火山の噴気孔 硫気孔付近に産する

以上のうち 資源として重要なものは1である。

石膏の用途は多方面にわたるが 主として陶磁器型用 美術工芸用 顔料 製紙充填 間接肥料およびセメント混入用などに使われ また無色透明で包有物のないものは 光学機械の特殊部品に利用されている。

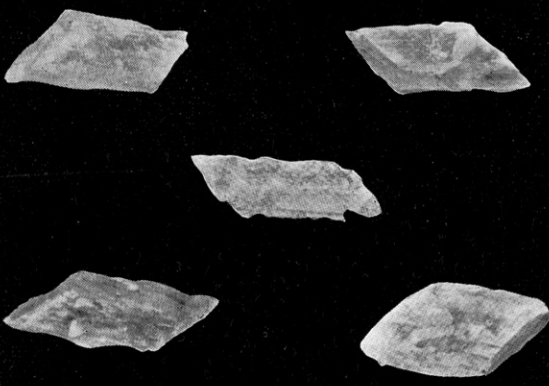
(標本室)



透石膏 $\times \frac{1}{5}$

島根県 簸川郡 (中山鉱山産)

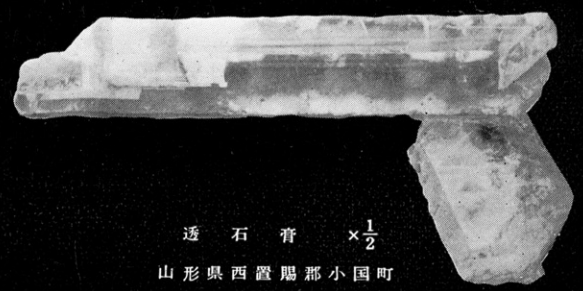
石膏のいろいろ



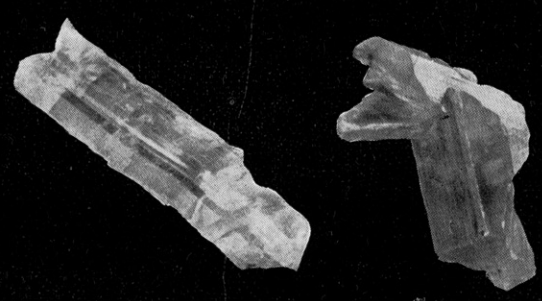
透石膏 ×1
山梨県南巨摩郡中富村 夜子沢



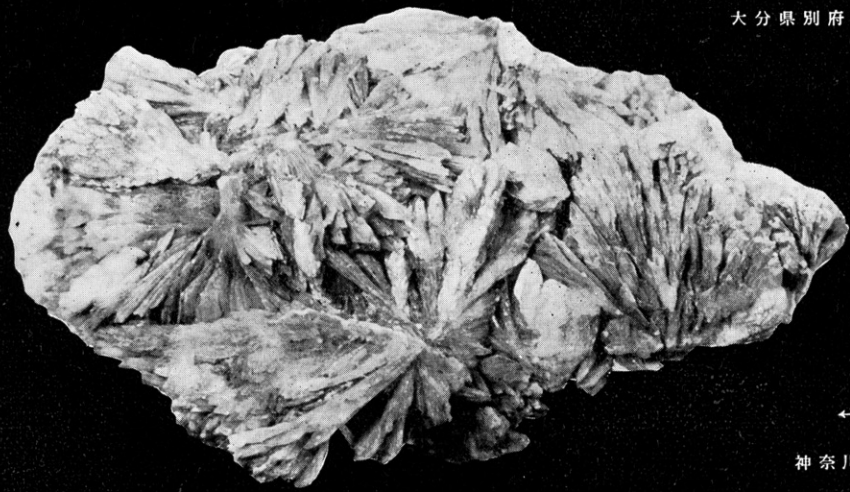
透石膏 約 × $\frac{1}{2}$
兵庫県朝来郡生野町 (生野鉱山産)



透石膏 × $\frac{1}{2}$
山形県西置賜郡小国町
(王金鉱山産)



透石膏 × $\frac{2}{3}$
大分県別府市観海寺温泉



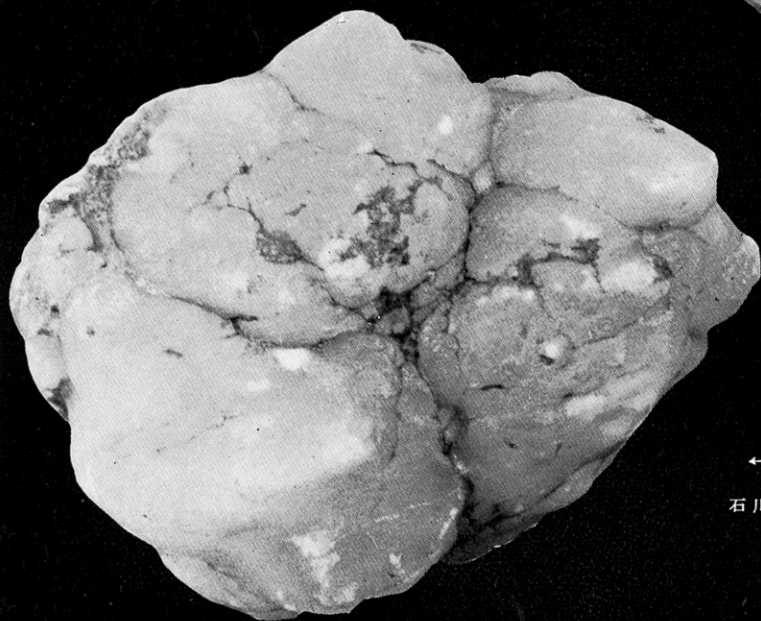
透石膏 × $\frac{4}{5}$
神奈川県足柄下郡箱根町大湧谷



透石膏 $\times \frac{2}{3}$
秋田県北秋田郡花矢町
(花岡鉱山産)



透石膏 $\times \frac{2}{5}$
石川県珠洲市(能登鉱山産)



雪花石膏 $\times \frac{1}{3}$
石川県珠洲市(能登鉱山産)



纖維石膏 $\times \frac{1}{2}$
島根県簸川郡大社町(鷓峠鉱山産)